



次期JAIRO Cloud (WEK03) データ移行仕様について

2020/11/4(水)15:30-17:00

第22回図書館総合展 国立情報学研究所主催フォーラム
「まったなし次期JAIRO Cloud本番移行」

林 豊 (国立情報学研究所学術基盤推進部)

1. 基本的な考え方

現行JAIRO Cloud (WEKO2) から次期JAIRO Cloud (WEKO3) へのデータ移行仕様の基本的な考え方

2. 第二次βテストデータ移行仕様ダイジェスト

第二次βテスト (2020年10～11月) の移行仕様は、βテスト (2020年6～7月) からどのように変わったのか？

※アイテムタイプ/アイテムを中心に

3. 本番移行に向けて

最終的な本番移行 (2020年12月～2021年2月) の移行仕様はどのようになるのか？

1. 基本的な考え方

- 移行仕様は**全利用機関で統一**になる（600以上の利用機関ごとに移行ツールをカスタマイズするのは困難なため）
- 基本的にはWEKO2のデータを**そのまま**移行したい。ただし、WEKO2とWEKO3の違いから「そのまま」が困難なものもある（特にメタデータとデザイン）

	WEKO2	WEKO3
メタデータスキーマ	junii2 (フラット)	JPCOARスキーマ (階層化)
CMS機能 (デザイン、レイアウト)	NetCommons2	独自開発

- junii2→JPCOARスキーマにきれいに移行したい
 - メタデータ項目の対応付け（マッピング）で、WEKO2側で手がかりとして使えるのは「**junii2マッピング**」と「**入カタイプ**」くらいしかないため、これらの組み合わせがマッピング仕様のキーになる
 - 「項目名が〇〇だから」というのは手がかりにしにくい

(creator、テキスト)



???

(description、テキストエリア)



???

(未設定、プルダウン)



???

入カタイプ（属性）

WEKO > 編集 > アイテムタイプ
 > アイテムタイプ編集 > メ
 タデータ編集

項目名	属性	オプション	入替	削除
タイトル	テキスト	<input type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 複数可 <input type="checkbox"/> 一覧表示 <input type="checkbox"/> 改行指定 <input type="checkbox"/> 非表示 <input type="checkbox"/> 必須		

junii2マッピング

WEKO > 編集 > アイテムタイプ
 > アイテムタイプ編集 >
 マッピング設定

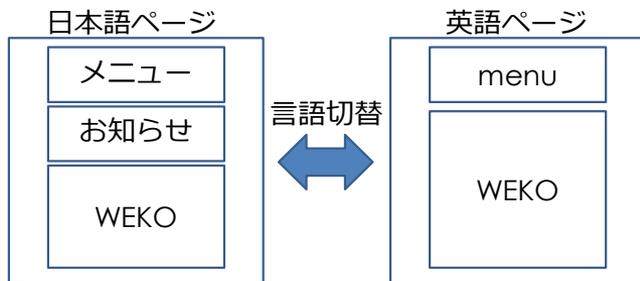
※プルダウン= junii2

メタデータ名	入カタイプ	Dublin Core	Junii2
タイトル	テキスト	title	title/alternative
タイトル(英)	テキスト	title	title/alternative
言語	選択式(プルダウン)	language	language
公開日	日付	date	date

- WEKO2でjunii2マッピングが設定されているメタデータ項目は、junii2ガイドラインを守っていると考えて良いか？
→残念ながらあまり……。ここは諦めるしかない
<https://www.nii.ac.jp/irp/archive/system/junii2.html>
- “攻めた”移行仕様にしてデータを失うのは避けたい

- WEKO2の「モジュール」をWEKO3の「ウィジェット」としてすべて実装するのではなく、利用の少ないモジュールは廃止するという判断に
- WEKO2のページレイアウトや配色はできるかぎり再現するように試みる
- ページレイアウトの多言語対応の考え方がWEKO2とWEKO3で異なる（次頁）

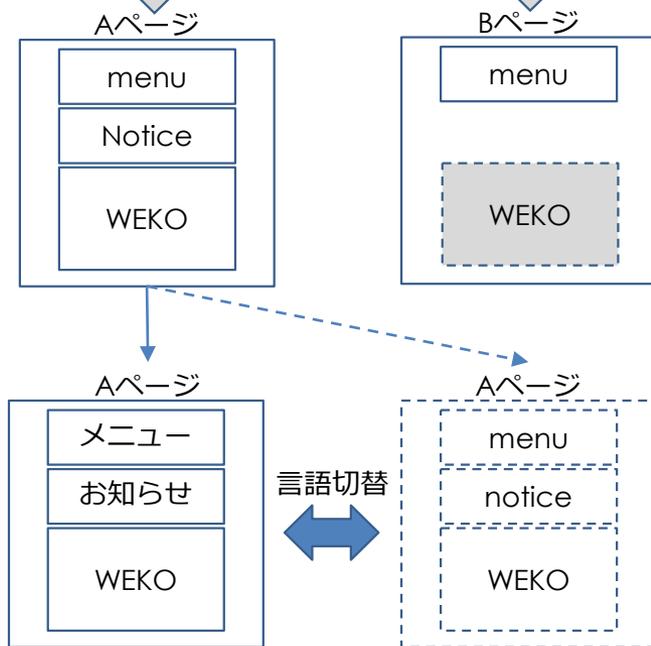
現行 JAIRO Cloud (WEKO2)



- 言語ごと（日本語ページ、英語ページ）に異なるページレイアウトが可能

別ページとして移行

次期 JAIRO Cloud (WEKO3)



- 言語によらずページレイアウトが共通
- WEKOウィジェットは1つのページにのみ配置可能(今後改善を検討中)

※WEKO3では、日本語ページと英語ページを別のページ（左図のA、B）に移行します

※必要に応じて移行後にページの統合作業をお願いします（Bを削除し、Aの英語ページに移行）

WEKO2	WEKO3
アイテムタイプ	アイテムタイプ
アイテム	アイテム
メタデータ項目	メタデータ項目
メタデータ項目名	メタデータ項目名
多言語設定 (日本語、英語)	Localization Setting
オプション (必須、非表示等)	オプション
入カタイプ (属性)	プロパティ
インデックス	インデックス
著者名典拠	著者DB (Author Management)
モジュール	ウィジェット

2. 第二次βテストデータ移行仕様 ダイジェスト

移行説明会 (2020/3/6)

<http://id.nii.ac.jp/1458/00000187/>

βテスト (2020/6~7)

<http://id.nii.ac.jp/1458/00000213/>

第二次βテスト (2020/10~11)

<http://id.nii.ac.jp/1458/00000239/>

本番移行 (2020/12~)

2020/12初旬公開予定



βテストを受けて仕様修正 (後述)
バグ対応



ドキュメント記載済の改善予定
+α (後述)

移行仕様については以下の2つを見ればOK

- **移行仕様について.pdf**

- 全体的な移行仕様の要点をまとめたもの（アイテム、アイテムタイプ、インデックス、管理情報、著者名典拠、ページレイアウト、モジュール、……）
- βテストの同名ドキュメントを改訂（見え消し）
 - 赤字の大半は記載漏れの移行仕様やWEKO3本体プログラムの制限事項

- **アイテムタイプマッピング表.xlsx**

- アイテムタイプおよびアイテムのマッピング仕様を示した巨大な表
- βテストの9種類の表を、1種類に統合
- 「移行仕様について」 p.12～18で読み方を解説

2020/9/6時点の現行JAIRO Cloud (WEKO2) 本番データが移行されています

#	種別	内容	備考
1	アイテムタイプ	全データ	詳細は本ドキュメント§3、別紙「アイテムタイプマッピング表」を参照
2	アイテム	全データ	詳細は本ドキュメント§3、別紙「アイテムタイプマッピング表」「エラー及びワーニングアイテム一覧」を参照
3	コンテンツファイル	#2に紐づくデータ	詳細は本ドキュメント§3を参照
4	サムネイル	#2に紐づくデータ	
5	アイテム間リンク	#2に紐づくデータ	
6	統計情報	移行対象外	【注意】本番移行では全期間移行
7	ユーザ	全データ	
8	インデックス	全データ	詳細は本ドキュメント§4を参照
9	著者名典拠 (WEKO3では著者DB)	全データ	
10	ページレイアウト	パブリックスペースの全データ	詳細は本ドキュメント§5を参照
11	モジュール (WEKO3ではウィジェット)	移行対象モジュール (お知らせ、新着情報、アクセスカウンター、リンクリスト、メニュー) の全データ	詳細は本ドキュメント§5を参照
12	WEKO2管理情報	外部著者ID Prefix、Prefix、NetCommons2システム管理情報	詳細は本ドキュメント§5を参照

欠損のないデータ移行を行うため、アイテムタイプのマッピング仕様を見直しました。
詳しくはマッピング表をご確認ください。
※併せてマッピング表の誤字等も修正しました。

- 【変更なし】WEKO2の各メタデータ項目の（**junii2マッピング, 入力タイプ**）という組み合わせをもとにしてWEKO3への移行先プロパティを決定するという**基本方針は変更ありません**
- **複数の項目の統合を原則行わないようにしました**
（例：βテストでは「内容記述」プロパティに移行される項目が複数あった場合、WEKO3で1つの項目に統合されることがありました）
 - 項目名、多言語設定、オプションをそのまま移行するようにしました
 - 項目名を値として移行しないようにしました（例「内容記述 XXXX」）
 - ただし、一部項目は項目統合を行います（タイトル⇔タイトル（英）、キーワード⇔キーワード（英）、著者⇔著者（英）、研究代表者⇔研究代表者（英））
 - **著者IDによる著者統合の条件を厳しくしました**
- 9種類のマッピング表を1つに統合しました
- JPCOARスキーマver1.0.2に対応しました（βテストではver1.0.1）



βテストの障害の多くは
ここに起因していました

アイテムタイプ及びアイテムのメタデータ項目は、次の基本方針で移行しています。詳しくは別紙「アイテムタイプマッピング表」（以下「**新マッピング表**」）をご確認ください。

- WEKO2のメタデータ項目に設定された「**入カタイプ**」（属性）と「**junii2マッピング**」の組み合わせをキーにして、WEKO3で移行先となるメタデータ項目のプロパティを定めています。（p.16-17参照）
- WEKO2の**項目名**、**多言語設定**（WEKO3ではLocalization Settings）、**オプション**（必須、複数可否、一覧表示、改行指定、非表示）はそのまま移行しています。
- WEKO2の複数の項目が同一のプロパティに移行される場合でも、**基本的に項目の統合は行わず、別々の項目として移行されます。**
※一部の項目（タイトル⇔タイトル（英）、キーワード⇔キーワード（英）、著者⇔著者（英）、研究代表者⇔研究代表者（英））は統合します。項目名、多言語設定、オプションはWEKO2から移行するのではなく移行ツールで定めています。なお、著者や研究代表者の統合ではWEKO著者IDをキーにします。

※新マッピング表では、本番移行までに修正予定の点を**青字**で示しています。

- 新マッピング表では1つの表で3つのパターンを全て記述しています
 - デフォルトアイテムタイプのメタデータ項目
 - ユーザー定義メタデータ項目 (junii2マッピングあり)
 - ユーザー定義メタデータ項目 (junii2マッピングなし)

βテストのマッピング表 (9種類) http://id.nii.ac.jp/1458/00000213/	第二次βテストの新マッピング表 (1種類)
マッピング表01~06 (デフォルトアイテムタイプ)	#1~#75 (「#〇〇 参照」除く)
マッピング表07 (ユーザー定義メタデータ項目 (junii2マッピングあり))	#1~#75 (「#〇〇 参照」除く)
マッピング表08 (ユーザー定義メタデータ項目 (junii2マッピングなし))	#1~#75、#85の「#〇〇 参照」 #76~#84
マッピング表09 (コンテンツファイル)	#85、#86、#87

WEKO2のメタデータ項目がどのように移行されるかを調べてみます（事前にそのメタデータ項目のjunii2マッピングと入力タイプの設定を調べてください）。

まずは、そのメタデータ項目の**junii2マッピング**に該当する箇所をD列（junii2マッピング）から探してください。junii2マッピングが未設定の場合は「-」になっている箇所（複数あります）を探してください。

【参考】C列（項目名）は基本的に「-」になっていますが、値が入っている場合は、①WEKO2では項目名を変更できない項目か、②項目名を移行条件にしている項目、です。

	B	C	D	E	F	G
ロバティ作成						
	WEKO2					
#	項目名	junii2 マッピング	テキスト	テキストエリア	リンク	チ
1	タイトル	title ※統合する場合	・タイトルに値を入れる ・「(英)」を含むプロパティに値がある場合は、繰り返し項目として入れる	/	/	/
	タイトル(英)		項目名に「(英)」または「(英)」を含めば「en」を設定、それ以外であればNULLとして移行する			
2	-	title	・タイトルに値を入れる	#76 参照	#77 参照	#78 参
			項目名に「(英)」または「(英)」を含めば「en」を設定、それ以外であればNULLとして移行する			
3	言語	language	/	/	/	/

次に、メタデータ項目の**入カタイプ**と一致する箇所をE列～Q列から探してください。

そこには、WEKO3のプロパティにどのような値が移行されるか記載されています（S列～Y列と併せてご確認ください）。

ここに「#〇〇 参照」と書いてある場合は、該当の項番（Excelの行番号ではありません）をご確認ください。

【参考】斜線は存在しないケースを意味します。

	J	K	L	M	N
	WEKO2入カタイプ				
†)	選択式(プルダウン)	氏名	書誌情報	日付	ファイル
	/	/	/	/	/
	#80 参照	#81 参照	#83 参照	#86 参照	#88 参照
	言語にプルダウンで選択されていた値を入れる	/	/	/	/
	/	/	/	日付のみ移行する（時	/

	R	S	T	U	V	W	X
	WEKO3 プロパティ情報						
	項目名	プロパティ名	プロパティ定義				
	デフォルト： タイトル 日本語： タイトル 英語： Title	タイトル	タイトル	Text	-	-	-
			言語	Select	-	-	-
	デフォルト： タイトル 日本語： タイトル 英語： Title	タイトル	タイトル	Text	-	-	-
			言語	Select	-	-	-
	デフォルト： 言語 日本語： 言語 英語： Language	言語	言語	Select	-	-	-

R列～AD列にはWEKO3での移行先項目（項目名、多言語設定、プロパティ、オプション）について記載しています。

R列はWEKO3での**項目名**です。基本的にはWEKO2の項目名がそのまま移行されるため「WEKO2 項目名（デフォルト）」となっています（**多言語設定**も同様）。

S列～Y列は**プロパティ**構造です（最大で3階層になっています）。

Z列～AD列は**オプション**です。基本的にはWEKO2の項目名がそのまま移行されるため「WEKO2 オプション」となっています。

AE列には詳しい**移行条件**を記載しています。

移行時に複数項目が統合される場合（#1、#5、#8、#9、#33、#34）や、移行仕様がアイテムタイプに依存している場合等、特殊なケースについてもこちらをご確認ください。

AF列とAG列はそのプロパティに設定された**Dublin Coreマッピング**と**JPCOARスキーママッピング**です。いずれもWEKO2から移行したのではなく、データ移行ツールで設定したものになります。必要に応じて、移行後に設定変更してください。

AD	AE	AF	AG
	移行条件	Dublin Coreマッピング	JPCOAR スキーマ
表示	<p>※WEKO2のアイテムタイプに必ず作成される項目です（項目名、junii2マッピング、入力タイプは変更不可）</p> <p>【統合条件】 「タイトル」のプロパティが2つあること かつ 片方のプロパティの項目名に「(英)」または「(英)」が含まれること</p> <p>※条件を満たさない場合は #2 として移行します ※統合に関して、「タイトル」と「タイトル(英)」はマージされますが、その他にWEKO2で junii2:title を持つ項目名がある場合はマージされません。そのため、3つ目からは別のプロパティとして移行します</p>	title	dc:title
x		-	xml:lang
EKO オブ ジェクト	junii2マッピングが「title」であること	title	dc:title
		-	xml:lang
x	<p>※WEKO2のアイテムタイプに必ず作成される項目です（項目名、junii2マッピング、入力タイプは変更不可） また、WEKO2のアイテムタイプ編集画面では入力タイプ「テキスト」と表示されますが、実際には「プルダウン」となります</p> <p>junii2マッピングが「language」であること</p>	language	dc:language

3. 本番移行に向けて

- 第二次βテストに間に合わなかった変更は、第二次βテストのドキュメントに記載しています
 - アイテムタイプマッピング表.xlsx : **青字**で記載
 - 移行仕様について.pdf : **[本番までに対応要]** と記載
- その他、第二次βテストを踏まえて、本番移行の仕様について一部変更を行う可能性があります
- **本番移行の移行仕様は12月初旬にJPCOARウェブサイトで公開予定**です（JAIRO Cloud利用機関にはメールでご案内します）

関連タイプは、 「references」 固定
関連識別子に 「WEKO2の表示名の値 WEKO2のURLの値」 として値を入れる ⇒関連識別子に 「WEKO2のURLの値」を入れるように修正 予定です
識別子タイプは、 「URI」 固定
NULL ※WEKO2保有 情報なし ⇒関連名称に 「WEKO2の表示名の 値」を入れるように修正 予定です
NULL ※WEKO2保有 情報なし

例

- 第二次βテストに関するご質問等は、JAIRO Cloudコミュニティサイトの**問い合わせフォーム**からお寄せください。

<https://community.repo.nii.ac.jp/contact/>

- お問い合わせ前に **〈投稿フォーマット〉**（「第二次βテスト実施要領」p.3～4）もご確認ください。

<http://id.nii.ac.jp/1458/00000239/>

問い合わせフォーム

以下の項目を入力して[決定]ボタンを押してください。
*印の項目は必須入力項目です。

カテゴリ

*
機関名

URL (JAIRO Cloud)

操作日 (または気が付いた日)

エラーに関するお問い合わせの場合、できるだけご記入下さい。

お問い合わせ内容

*
状況や操作手順、エラーメッセージ等、具体的にご記入下さい。

添付ファイル 選択されていません

例)
・エラー画面のスクリーンショット
・メタデータ&変換フィルタ (SCNW(一括登録)の登録エラーの場合)
※複数ファイルは1つの圧縮(zip形式)フォルダにまとめて下さい。

ご所属

*
お名前